

巻頭言

VUCAの時代を 生き抜くために



埼玉大学産学官連携協議会
新会長

原 俊樹

HARA Toshiki

AGS株式会社
代表取締役社長

の適応を強いられ、おそらくは私たち人間の生き方や働き方が大きく変わるであろうことなど考え併せると、とりわけ過去30年間多くの人々が信頼し礼賛してきた、経済合理性に基づくグローバル化の時代が大きな曲がり角に差し掛かった。後世から見ると2019年からの数年間が歴史の大きな転換点であったと評価されるのかも知れません。

混沌として明日何が起こるか分からない時代です。企業経営においては事業環境の変化への感度を高め、変化を商機に結び付ける強かさ、貪欲さや、過去の成功体験をゼロクリアし、常に変わり続けるのだという強い意志を内外に示すことなどが、これまで以上に重要であると考えています。現状維持で良しとする経営判断を下すことは、早晩時代の荒波に碎かれ市場からの退場を告げられることにもなるのでしょうか。

そのような「VUCAの時代」に生き残るためのポイントは、情報収集のネットワークを出来得る限り拡げておく、そしてこれまでの自前主義や純血主義に拘らず、人材もビジネスアイデアも良いもの、価値あるものであれば大いに外から取り込み、出来るだけ早期の結実に結び付けることができる柔軟でダイバーサな組織運営力であろうと感じています。

地元埼玉の知の一大集積である埼玉大学を核とし本産学官連携協議会が有している潜在的な可能性を一例でも多く具現化してゆくことが、かつてなく重要性を増していると思います。

皆さまの積極的な参画に期待いたします。

6月17日に開催されました埼玉大学産学官連携協議会定期総会において会長の大役を仰せつかりました。浅学非才ではありますが、確りと事にあたって参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

さて現代はVUCA (Volatility Uncertainty Complexity Ambiguity) の時代であると言われてます。

「変動性が高く、予測困難で、複雑化した、時に曖昧な時代」という大意でしょうか。

実際、中国による香港の事実上の併合や足下のロシアによるウクライナ侵攻などを見るにつけ、あるいはコロナウイルスに翻弄され新常态へ

CONTENTS >>>

- 01 巻頭言
- 02 活動報告「第23回定期総会」
- 04 研究会活動報告「AI時代の音・画像処理技術研究会」「埼玉グリーンインフラSDGs研究会」「ICTによる新社会システム創成研究会」「データサイエンス技術研究会」「金属積層造形技術研究会」
- 06 新会員紹介
- 08 オープンイノベーションセンター産学官連携活動カレンダー

活動報告

Report 01 「第23回 定期総会・産学官連携事例発表」を開催



会長挨拶(牛窪会長)



特別講演(埼玉大学/坂井学長)

埼玉大学産学官連携協議会では、2022年6月17日(金)ソニックシティビル4階市民ホールにおいて、第23回定期総会(第1部)、産学官連携事例発表(第2部)を開催しました。直近2回の定期総会については、2020年度が書面表決、2021年度は来場参加・オンライン参加・書面による議決権行使を併用した開催方式でしたが、今回は3年ぶりの対面による通常開催となりました。

総会開催に先立ち、2021年度事業報告案及び決算案、2022年度事業計画案及び予算案、役員改選の各号議案は、6月3日(金)に開催の運営委員会(メール審議)において運営委員による審議を行いました。

開催当日は、86名の方にご参加い

ただきました。第1部定期総会では、牛窪啓詞会長が挨拶を行い、各会員の事業継続性を高めることや新規事業への展望を得ることを目指し、産学官連携の更なる活用を期待すると述べました。総会開催定足数の確認後、牛窪会長が議長となって議事を進行

しました。各号議案について事務局より報告及び提案があり、全ての議案が原案通り承認されました。2022年度活動計画及び予算案では、研究会活動の拡充やシーズ発信の強化等、本協議会の活動活性化に向けた各種提案を行い、承認されました。第5号



第1部 定期総会

別表1

埼玉大学産学官連携協議会 第23回定期総会各号議案議決結果

定足数

6月17日時点会員数	229会員
出席会員	51会員
書面表決書受領	142会員

会員数229に対し、出席会員及び議長宛委任状を合わせて193会員となり、本協議会規約第4章第17条(総会の定足数)における総会成立条件である3分の1以上の出席を満たす結果となりました。

各号議案への書面表決結果

第1号議案	2021年度事業報告(案)
第2号議案	2021年度決算(案)
第3号議案	2022年度事業計画(案)
第4号議案	2022年度予算(案)
第5号議案	役員改選

結果

議長宛委任状件数を合計し、すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。



産学官連携事例紹介(本間准教授)



産学官連携事例紹介(水村教授)



産学官連携事例紹介(松岡オープンイノベーションセンター長)

議案の役員改選については、牛窪会長の任期満了に伴い、原俊樹氏(AGS株式会社 代表取締役社長)を後任会長とする旨が承認されております。議案承認後には、新たに運営委員に就任された6名の方から、ご挨拶いただきました。

第2部の産学官連携事例発表では、埼玉大学 坂井貴文学長より「埼玉大学の近未来ビジョン」と題し、特別講演が行われました。大学概要にはじまり、コロナ禍における授業形態の変化や学生支援に関する取組、グローバル化の現状等の最近のトピックスをご紹介いただきました。また、第4期中期目標の取組内容と大学が目指すビジョンが示され、その実行に向けた産学官連携の状況、研究体制の再構築についてご講演いただきました。

産学官連携事例/研究トピックスの紹介では、3件の講演を行いました。大学院理工学研究科 本間俊司准教授より「数値流体シミュレーションによる粘着剤開発支援」と題し、本協議会会員のサイデン化学株式会社との

共同研究内容について講演いただきました。技術概要や外部資金獲得実績、教育・就職面での成果等多岐に渡って紹介されました。

続いて、大学院人文社会科学研究科の水村典弘教授より「経済学部による社会連携の取組について」と題し、経営組織論やコンプライアンスに係わる3教員の研究や業績が紹介され、中でも不適切な製品表現・広告等表示の炎上防止策では、実事例を交えて分かりやすく講演いただきました。

また、オープンイノベーションセンター長 松岡浩司教授より「研究会活動紹介」として、これまでの活動状況

や、現行の5研究会の活動について、代表となる教員の研究シーズを交えながら紹介が行われました。

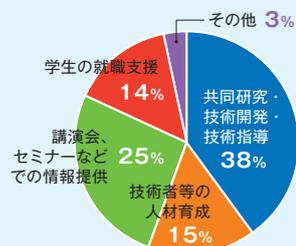
今回は短時間化及び密集・密接を避ける観点から第1部及び2部の規模を縮小し、交流会(懇親会)についても実施を見合わせました。対教員あるいは会員企業・団体間での交流促進の機会については、今後も形式を検討しながらご提供していく予定です。感染症対策で各種制約がある中、定期総会の開催にご協力いただきました会員の皆様には改めて御礼申し上げます。



第2部 特別講演

参加者アンケートより

大学との連携に何を求めますか、期待されますか。



その他の回答

- 人材育成(エンゲージメント向上、リーダーシップ、多様な方の活躍)
- 事業化に向けた連携

産学官連携事例発表(第2部)についてご意見・ご感想

- 大学の取組み、方向性が具体的に理解ができた。親近感が湧いた。
- コロナ禍における学生支援策が素晴らしいと思った。
- 本間准教授の講演に産学連携のモデルケースを見る思いがした。
- 学生のインターンシップに準ずる活動となるのは新たな視点だった。
- 水村教授の事例は、全ての企業共通の課題であり、文系の研究は新鮮であった。
- 例年に比べてとても分かりやすく、示唆に富む事例発表だった。

>> 活動報告

Report

02

埼玉大学産学官連携協議会研究会報告

AI時代の音・画像処理技術研究会

代表：島村 徹也(大学院理工学研究科・教授) 事務局：金谷 康弘(産学官連携シニアコーディネーター)

今回の研究会(7月29日開催)は最新の研究動向把握をテーマに、じっくりと交流できるよう講演とともにポスターセッションの部を設けました。少しでもざっくばらんに気軽な交流が出来るよう意図したものです。



講演の部では、本研究会代表の島村教授による「音・画像に関する最近の研究事例紹介」と、学生による2件の研究事例紹介を行いました。画像品質評価、顔の感情認識、音声強調、画像の質感再現などの紹介が分かり易く、ユーモアを交えながら行われました。

ポスターセッションの部では、島村・杉浦・安井研究室および小室・入山研究室の学生による13件の発表が行われました。学生達が日頃の研究成果を平易に丁寧に説明することにより、参加した皆様には肩の荷も軽く

概要を把握して頂きました。更に深く専門的な話を望む方は、5名の先生方と熱心に心ゆくまで技術談義をされ、参加した皆様のご要望に応じた幅広い交流をじっくりと行うことが出来ました。



埼玉グリーンインフラSDGs研究会

代表：藤野 毅(大学院理工学研究科・教授) 事務局：大久保 俊彦(産学官連携シニアコーディネーター)

SDGs達成への具体的な道筋が問われています。その実現に向けて何が必要か、何かできるかについて、人と自然が関わる場を主な研究対象とし、みんなで考える場として活動しています。自然災害の軽減を主目的とした“グリーンインフラ”に続いて、昨今は生物多様性の減少傾向を食い止め、その回復に向かわせる“ネイチャーポジティブ(Nature Positive)”という標語も話題になりつつあり、これも2030年までに達成することが国際的な目標になってい

ます。その目標達成には社会・経済に変革を起こし、自然資本を持続可能なように利用することが不可欠であり、産業界からの関心が一層高まっています。本研究会の主な研究対象フィールドは埼玉県内にあることから、前半期は本研究会がさいたま市や埼玉県の様々な部局等に知られるようになりました。例えば、周辺地域の都市化が著しい中にある見沼田圃の保全・活用・創造も1つのテーマであり、

Green as the new white for rethinking urban planning

H.M.M.S.D.Herath, M.D.H.Jayasanka Senavirathna, and Takeshi Fujino



CAMP2022(International Young Woman Scientist Camp, The Association of Korean Woman Scientists and Engineers)において都市内の緑地の在り方についての再考を発表(令和4年8月24-26日)

産学官の連携を一層強め、最新の研究発表や革新的な議論を進めていきます。

ICTによる新社会システム創成研究会

代表：長谷川 孝明(大学院理工学研究科・教授) 事務局：金谷 康弘(産学官連携シニアコーディネーター)

本研究会の本年度前期は代表によるセミナー2回と、外部講師による特別講演会1回をすべて対面で開催しました。

まず、4月21日(木)14:00-16:30に、

昨年度の2回に続く第3回のセミナーを開催し、「抽象化と具体化」の考え方の例として、セグメントで変わる本質、高校生の自動二輪施策、アプリ“Zenly”、“LINE”などに触れ、前回の

「メタバースの行方とビジネスフロンティア」の続編をお話させていただいた上、プラットフォーム論、人々がお金を出す動機から考える「安全・安心」という言葉などに論を進めました。

次に、5月25日(水)14:00-17:00に開催した特別講演会の講師として、世界に先駆けてカーナビゲーションシステムを開発し、現在は株式会社エヌエフホールディングス代表取締役会長兼グループCEOの高橋常夫氏と、日経ビジネスで「世界を動かす日本人50人」に選出されたシリアルアントレプレナーで、モビリティ×IoT×FinTechで画期的なビジネスモデルを展開するグローバルモビリティサー

ビス株式会社の代表取締役社長 中島徳至氏のお二方をお招きして、生きる姿勢から事業に対する取り組みまで、貴重なお話を伺いました。

最後に、7月6日(水)15:00-17:30に第4回のセミナーを開催し、プロンプ情報システム、超高齢社会に対応するモビリティ、MaaSと自動車産業、空間的心地よさの質(QoS)、生産性と週休三日制考のあと、「ユビキタスネットワークと市場創造／新社会シ



ステム」(2002年)の見方を現時点(2022年)から改めて考えることのお話をしました。

データサイエンス技術研究会

代表：平松 薫(大学院理工学研究科・教授) 事務局：金谷 康弘(産学官連携シニアコーディネーター)

近年、様々なデータを活用し、業務の効率化や客観的な判断を可能にするデータサイエンスが注目を集めています。実際にデータを集めて分析し、利益を生み出している企業はまだ少数にとどまっています。このような背景の下、データサイエンスの最新動向と様々な企業における成功事例を知り、データ活用に役立つスキルを共有することを目指し、本研究会が設立されました。

9月16日に第1回研究会が開催され、平松薫教授(代表)が近年のデータサイエンスに関わる最新動向と企業におけるデータ活用の状況、伝票の電子化による業務効率化や画像処理を用いた製品検査の省力化など、データ活用の成功事例を紹介しました。

本研究会は、今後、皆様からのご要望に合わせて、講演の内容を選び、データ分析のデモンストレーションやワークショップ等も企画していく予定

です。皆様のご参加と、積極的なご意見・ご要望をお待ちしております。



金属積層造形技術研究会

代表：金子 順一(大学院理工学研究科・教授) 事務局：宇田川 秀幸(産学官連携コーディネーター)

本年度より金属積層造形に関する研究会を設立することとなり、第一回キックオフを8月5日に開催しました。本研究会では、特に機械製品の製造を目的とした金属積層技術に焦点をあて、積層プロセスおよび産業応用について、最新の動向の調査や

事例の検討を行うことを目的といたします。

初回の研究会では、金属積層造形の利用に向けての課題をどう解決するべきかについて、設立の狙いを代表の金子順一教授より紹介しました。また、副代表の阿部壮志准教授より、最新の金属積層技術の産業応用の事例が紹介されました。さらに、埼玉県産業技術総合センター・南部洋平氏より、樹脂焼結による金属積層について、SAITECの設備紹介と利用支援のプログラムが紹介されました。会の最後には、本研究会に理事企業・団体として参画

される日本ノズル精機様、リコージャパン様、群馬積層造形プラットフォーム様にそれぞれ取組等のご紹介をいただき、今後の活動についての希望調査を行いました。見学や講演を通じて皆様と課題を共有したいと考えておりますので、ぜひともご参加をお待ちしております。



新会員紹介

01

明治安田生命保険相互会社 埼玉本部

当社は「確かな安心を、いつまでも」お届けするとともに「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」となることをめざしています。あわせて、「みんなの健活プロジェクト」と「地元の元気プロジェクト」を軸とした健康づくり支援や地域社会の豊かな生活への取組みを通じて、SDGsの達成や地域社会の課題解決に貢献してまいります。

- ① 生命保険業
- ② 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町
4-262-16 マルキュービル6階
- ③ 048-851-1280
- ④ 2020年(令和2年)4月1日
- ⑤ 執行役員/埼玉本部長 安田 剛
- ⑥ 確かな安心を、いつまでも

明治安田生命

みんなの
健活
プロジェクト

02

株式会社ライト製作所

当社は、2022年に75周年を迎える、半導体関連装置や医療機器の受託製造や、眼科医療機器などの自社製品製造を行うメーカーです。設計から加工、組立、サービスまでを行う一貫生産体制を強みとしており、埼玉県坂戸工場を中心に国内3工場、海外1工場(中国)で連携したモノづくりを行い、お客様の思いを形にして提供しております。

- ① 半導体関連製造装置や医療機器の半製品・部品製造
- ② 東京都板橋区前野町 1-47-3
- ③ 03-3960-2246
- ④ 1947年(昭和22年)6月
- ⑤ 代表取締役 津野田 修
- ⑥ 私たちはものづくりで社会に貢献します



埼玉県坂戸工場の外観

03

エクシオグループ株式会社

生活を支えるインフラを、地域や世代を超えた全ての人々が当たり前に使えて、自由に幸せを追求することができる。それこそがエクシオグループがめざす豊かな世界です。コアコンピタンスである情報通信インフラ分野から多様なニーズに応えるソリューション分野まで、創業以来68年、技術の研鑽とハードからデジタルに至る知見をつないで、目まぐるしく変化する社会に未来の“あたりまえ”を創り続けていきます。

- ① 通信インフラ事業・都市インフラ事業・システムソリューション事業
- ② 東京都渋谷区渋谷 3-29-20
- ③ 03-5778-1122
- ④ 1954年(昭和29年)5月17日
- ⑤ 代表取締役社長 船橋 哲也
- ⑥ “つなぐカ”で創れ、未来の“あたりまえ”を



世界を繋ぐ仕事

通信インフラ施工現場

04

一般社団法人群馬積層造形プラットフォーム

AMの初心者から上級者まで幅広い方々に実技も含めたAM教育プログラムを提供します。AMの前工程、造形工程、後工程を含めたAMに必要な設備を一気通貫して有し、実用化に向けた概念実証を設備投資することなく行えます。会員による概念実証、共同研究開発を行ない、そこで得た知見を共有し、AM技術をより効率的に実装できます。

- ① 積層造形に関する各種技術・動向に関する調査研究、積層造形の普及促進に関する広報啓蒙活動、人材育成、概念・アイデアの実用化の可能性に関する相談助言、試作・製造等実用化に関する相談助言、受託・委託造形
- ② 群馬県太田市榎木野町880 日本ミシュランタイヤ株式会社内
- ③ 0276-25-4856
- ④ 2021年(令和3年)7月27日
- ⑤ 代表理事 鈴木 宏子
- ⑥ AMの人材育成、実用化、研究開発で地域、産業界のニーズに応える。



造形室内での共同研究開発

05

株式会社丸和運輸機関

当社、丸和運輸機関は小売業に特化した3PL事業を展開し、物流改善・改革によりお取引先様に貢献してきました。また、近年需要の高まるEC事業や、災害時支援のBCP物流事業、DXの推進に注力しております。今後も人々の生活を支える事業を通じ、3PL業界No.1企業を実現してまいります。

- ① 物流事業
(サードパーティ・ロジスティクス)
- ② 埼玉県吉川市旭7-1
- ③ 048-991-1000
- ④ 1973年(昭和48年)8月
- ⑤ 代表取締役社長 和佐見 勝
- ⑥ お客様第一義



創業50周年を記念し、ロゴマークをリニューアルいたしました

DATA ▶▶ ①事業内容 ②本社所在地 ③電話 ④設立年月日 ⑤代表 ⑥社是またはモットー

06 武蔵コーポレーション株式会社

当社は節税や貯蓄を目的とする方々を対象に収益用不動産を活用し、資産形成のコンサルティングを行っている資産運用会社です。不動産の売買、仲介、管理事業を通じて、押し売りやテレアポといった営業ではなく、平均年齢27.3歳の社員が「三方よしの理念」に沿ってお客様に人生の安心を提供しております。

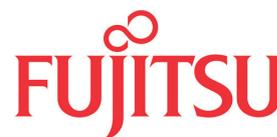
- ① 収益用不動産を主軸とした資産運用・資産形成のコンサルティング
- ② 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル21F
- ③ 03-6206-3508
- ④ 2005年(平成17年)12月9日
- ⑤ 代表取締役 大谷 義武
- ⑥ 資産運用を通して、人生の安心と快適な住環境を提供し、心を豊かにします



07 富士通Japan株式会社

当社は富士通グループの社会における存在意義であるパーパス「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていく」を国内サービス市場において具現化すべく発足いたしました。日本のために何が出来るかを考え「日本を強くする会社」として、お客様や社会の課題を解決することで、日本の持続的な成長を支えてまいります。

- ① ソリューション・SI・パッケージ開発から運用までの一貫したサービス提供、及びAI・クラウド活用によるDX 推進
- ② 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
- ③ 03-6281-4111
- ④ 1947年(昭和22年)4月23日
- ⑤ 代表取締役社長 砂田 敬之
- ⑥ 「日本の社会課題をデジタル技術で解決し、日本の持続的な成長に貢献します」



富士通Japan

08 株式会社フジ

フジは創業50年の金型メーカーです。金型設計・製作にデジタル技術を組み合わせ、大手自動車メーカーをはじめとする、お客様のニーズに応じた金型を提供してきました。その独自のノウハウやきめ細かな対応が評価され、現在、フジの金型は世界中で活用頂いています。今年、最新の金属3Dプリンターを導入し事業の継続的な成長を目指しています。

- ① 鋳造用金型設計・製作
- ② 埼玉県川口市領家2-22-12
- ③ 048-224-7161
- ④ 1976年(昭和51年)6月2日
- ⑤ 代表取締役 北川 巡哉
- ⑥ 先端技術で業界最高品質を。



バイメタル金型(異種金属材料の結合)

新規会員をご紹介ください

- 埼玉大学産学官連携協議会入会メリット -

研究会活動に参加できます

「AI時代の音・画像処理技術研究会」「埼玉グリーンインフラSDGs研究会」「ICTによる新社会システム創成研究会」「データサイエンス技術研究会」「金属積層造形技術研究会」が活動中です。新規研究会テーマも随時募集中です。



産学交流会(テクノカフェ)に参加できます

大学・企業等の最先端の研究成果や技術紹介と、大学と企業等のマッチングを図るオープンイノベーションの場を提供します。



埼玉大学生採用のチャンスがあります

会員企業が埼玉大学の学生・留学生に対して魅力発信する機会
学内合同企業説明会に参加できます。
(年1回)



埼玉大学科学分析支援センターが活用できます

大型分析機器を多数保有する科学分析支援センターでの依頼分析を、協議会会員料金(規定1/2)でご利用いただけます。
(随時)



最新情報をお届けします

- ・ニュースレター(年2回発刊)
- ・インフォメーションメール配信
- ・会員企業・団体に有益な情報や研究シーズ紹介、会員企業紹介、イベント情報等を提供します。



お問い合わせはこちらまで

埼玉大学産学官連携協議会事務局

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
(オープンイノベーションセンター内)
電話：(048)858-9064
E-mail：s-kyougikai@gr.saitama-u.ac.jp
URL：http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/kyougi/kyougi_about/

産学官連携活動カレンダー (予定表)

月 日	イベント	場 所
4(火)～31(月)	イノベーション・ジャパン2022 ～大学見本市&ビジネスマッチング～	オンライン開催
10	20(木)～21(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 入門3D-CADコース	埼玉大学
	27(木)～28(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 入門3Dプリンターコース	埼玉大学
	2(水) AI時代の音・画像処理技術研究会	埼玉大学
	3(木)～4(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 実用3D-CADコース	埼玉大学
	4(金) 第23回埼玉大学産学交流会 テクノカフェ	埼玉大学
11	9(水) 第17回東和新生会「ビジネス交流会」	Gメッセ群馬
	10(木)～11(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 実用3Dプリンターコース	埼玉大学
	24(木)～25(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 CAE演習コース	埼玉大学
	25(金)～27(日) 第73回むつめ祭(学園祭)	埼玉大学
	2(金)、9(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 CAM演習コース	埼玉大学
12	15(木)～16(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 超入門3D-CADコース	埼玉大学
	22(木)～23(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 超入門3Dプリンターコース	埼玉大学
	第4回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定)	メール審議
	5(木)～6(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 入門3D-CADコース	埼玉大学
1	12(木)～13(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 入門3Dプリンターコース	埼玉大学
	26(木)～27(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 実用3D-CADコース	埼玉大学
	2(木)～3(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 実用3Dプリンターコース	埼玉大学
	8(水)～9(木) 彩の国ビジネスアリーナ2023	さいたまスーパーアリーナ
2	9(木)～10(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 CAE演習コース	埼玉大学
	17(金)、24(金) 3D-CAD&3Dプリンター研修 CAM演習コース	埼玉大学
	20(月)～25(土) 埼玉大学合同オープンカンパニー	オンライン開催
3	第5回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定)	メール審議

★埼玉大学産学官連携協議会関連事業

埼玉大学産学官交流会

第23回 テクノカフェ

埼玉大学産学交流会テクノカフェを開催いたします。
多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時	▶ 2022年 11月4日 (金) 13:30～16:30 (予定)
会 場	▶ 埼玉大学総合研究棟 1号館 1階シアター教室
第1部	▶ 基調講演 「XR・メタバースの可能性と展望」 講師：岩村幹生氏 (株式会社NTTドコモ ビジネスクリエーション部XR推進室長)
第2部	▶ 大学研究シーズのご紹介：大学教員研究成果等の事例発表
お申込み	▶ 事前登録制：右記QRコードを読み取り、参加申込フォームからお申し込みください。 http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/topics/2022/techno2022.html

